

金ヶ崎町の経済動向分析

RESAS（地域経済分析システム）からの分析

2026年3月

金ヶ崎町商工会

目次

1. 金ケ崎町は、何で稼いでいるか（地域経済循環マップ・生産分析）	1
(1) 地域経済循環分析	1
(2) 地域内産業の構成割合（2022年）	5
2. 地域ビジネス環境分析（産業構造マップ）	8
3. 人の動き（人口マップ・通勤通学人口分析）	12
(1) 昼間人口・夜間人口の地域別構成割合（2020年）	12
(2) 昼間人口・夜間人口の年齢階級別構成割合（2020年）	14
4. 全産業の構造（産業構造マップ>産業構造分析）	16
(1) 産業構成-企業数（企業単位）（2021年）	18
(2) 産業構成-事業所数（事業所単位）（2021年）	19
(3) 産業構成-従業者数（事業所単位）（2021年）	20
(4) 産業構成-売上高（企業単位）（2021年）	21
(5) 付加価値額の構造分析-産業別増減率（2016年→2021年）	22

1. 金ケ崎町は、何で稼いでいるか（地域経済循環マップ・生産分析）

（1）地域経済循環分析

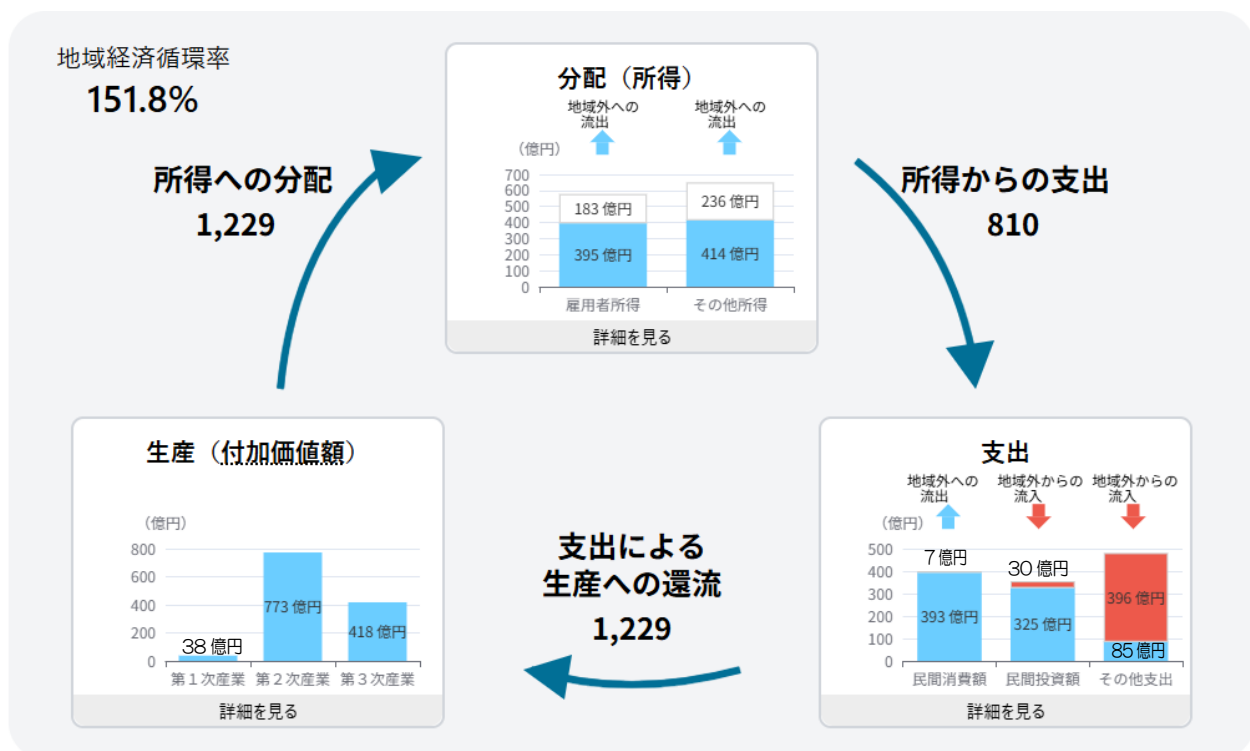
「地域経済循環マップ」>「地域経済循環分析」によると、地域経済循環率（生産／分配）は、2018年では151.8%、2020年では108.9%、2022年では159.6%となっている。

生産（付加価値額）は、企業で言えば粗利益の部分であり、2022年では、第2次産業が1,046億円（全体の71.4%）、第3次産業が383億円（全体の26.1%）である。

分配（所得）の棒グラフの青い部分は、「生産（付加価値額）」で稼いだ所得を示している。2022年では、「雇用者所得（賃金や給料等）」で485億円、「その他所得」で432億円を稼いでいる。「その他所得」は、「雇用者所得」以外の所得全てであり、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等が含まれている。棒グラフの白い部分は、他地域への流出分であり、「雇用者所得」で377億円、「その他の所得」では、170億円が流出している。

2022年の支出をみると、住民の消費等を示す「民間消費額」では93億円が町外へ流出している。「その他支出」とは、政府支出と地域産業の移輸出入収支額等が含まれている。565億円が町外から流入しているが、町外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きくなり、マイナスとなっている。

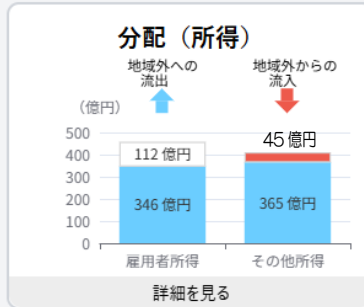
地域経済循環図
金ケ崎町（2018年）



地域経済循環図
金ケ崎町（2020年）

地域経済循環率
108.9%

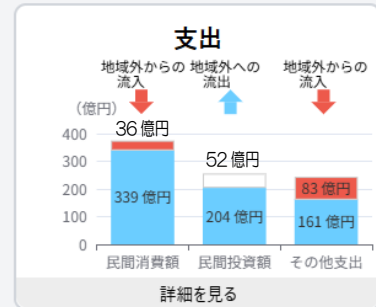
所得への分配
823



所得からの支出
756



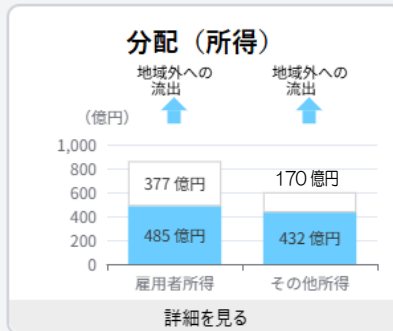
支出による
生産への還流
823



地域経済循環図
金ケ崎町（2022年）

地域経済循環率
159.6%

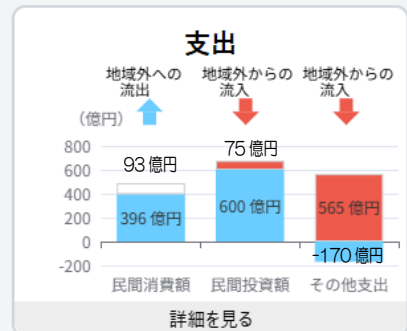
所得への分配
1,465



所得からの支出
918



支出による
生産への還流
1,465



付加価値額（一人当たり） 2022年

区 分	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 （一人当たり）	289万円	1,801万円	878万円
付加価値額 （一人当たり） 順位	631位	153位	434位

「生産（付加価値額）」では、地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた付加価値額を把握することができる。

地域の第1次産業、第2次産業、第3次産業を付加価値額のグラフで比較することが可能である。加えて、地域の当該産業の従業者一人当たりの付加価値額（労働生産性）を表で把握することができる。

順位は、都道府県単位では全国47都道府県、市区町村単位は全国1,741市区町村におけるランキングとなっている。

所得（一人当たり） 2022年

区 分	雇用者所得	その他所得
所得 （一人当たり）	318万円	284万円
所得 （一人当たり） 順位	77位	463位

「分配（所得）」では、地域産業が稼いだ付加価値額がどのように所得として分配されたかを把握することができる。

「分配（所得）」は、雇用者に支払われた「雇用者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の「その他所得」で構成される。

各棒グラフは、地域内の住民・企業等に分配された所得の総額を示している。

地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が少ない場合は、その差額が赤色で表示され、地域外から所得が流入していることを意味する。

逆に、地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が多い場合は、その差額が空白の四角で表示され、所得が地域外に流出していることを意味する。

上記の表では、人口一人当たりの雇用者所得及びその他所得を把握することができる。

表に記載されている順位は、都道府県単位では全国47都道府県、市区町村単位は全国1,741市区町村におけるランキングとなっている。

支出流出入率 2022年

区 分	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	-19.0%	12.5%	-331.5%
支出流出入率 順位	1,388位	240位	1,727位

「支出」では、地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたかを把握することができる。

「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等を示す「その他支出」で構成される。

各棒グラフは、地域内で消費・投資された金額を示している。

地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味する。

逆に、地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が多い場合は、その差額が赤色のグラフとして表示され、支出が地域外から流入していることを意味する。

上記の表は、地域内の住民・企業等が支出した金額に対する流出入額の比率を示す「支出流出入率」を把握することができる。

表に記載されている順位は、都道府県単位では全国47都道府県、市区町村単位は全国1,741市区町村におけるランキングとなっている。

【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

地域経済循環分析（環境省） <https://chiikijunkan.env.go.jp/manabu/bunseki/>

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等により構成される。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

本データは国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的な方法で作成している。

国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的に推計方法については絶えず見直しを行っている関係上、随時、過去に遡って改定がなされるため、本データのデータ更新時には、これまで公開していた数値から変化する場合がある。

(2) 地域内産業の構成割合 (2022年)

「地域経済循環マップ」>「生産分析」>「地域内産業の構成を見る(生産額(総額))」で、地域内産業の構成割合を見ると、2次産業が87.7%と高い比率を示している。岩手県平均や全国と比べても、その比率は高くなっている。

2次産業の、産業ごとの内訳をみると、「輸送用機械」が2次産業全体の71.8%を占めている。構成割合が次いで高い産業は、順に「化学」(9.4%)、「建設業」(7.0%)である。

3次産業の、産業ごとの内訳では、構成割合の高い順に「運輸・郵便業」(21.5%)、「住宅賃貸業」(15.3%)、「保健衛生・社会事業」(10.0%)である。

【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)
地域経済循環分析(環境省)

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<https://www.vmi.co.jp/jpn/reca/>

一人当たり生産額＝当該産業生産額÷当該産業従業者数

一人当たり付加価値額＝当該産業付加価値額÷当該産業従業者数

一人当たり雇用者所得＝当該産業雇用者所得÷当該産業従業者数

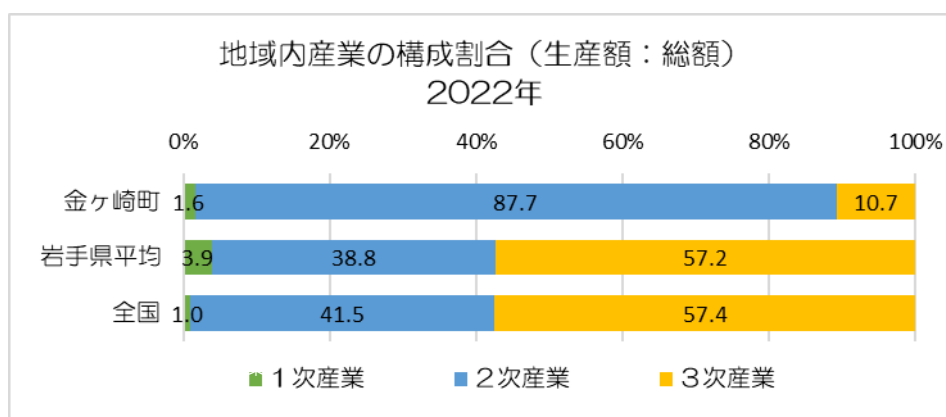
本データは国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的な方法で作成している。

国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的に推計方法については絶えず見直しを行っている関係上、随時、過去に遡って改定がなされるため、本データのデータ更新時には、これまで公開していた数値から変化する場合があります。

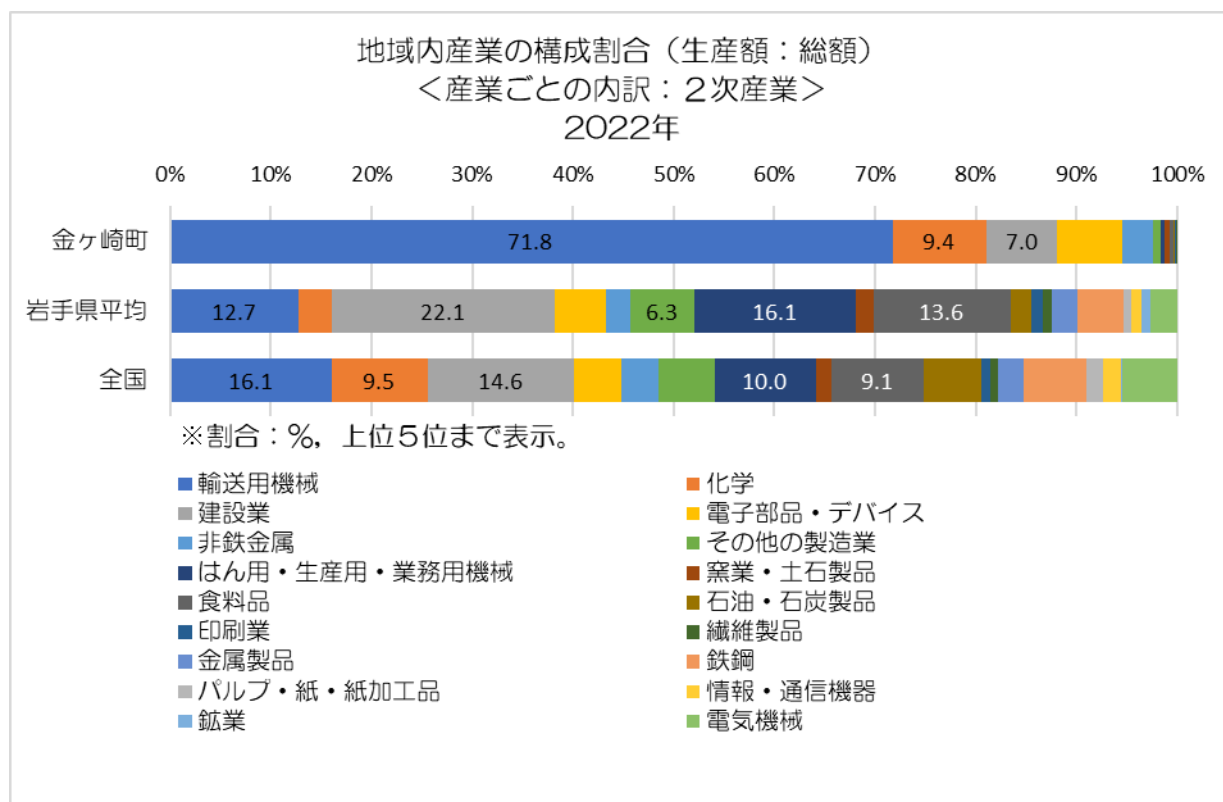
「公務」の生産活動の産出額は、売上等のデータからは推計できないことから、発注額(＝サービス提供にかかる費用)など経済活動に要した費用の積み上げが産出額となっている。

「住宅賃貸業」には帰属家賃が含まれている。。

① 地域内産業の構成割合(生産額:総額)〔2022年〕



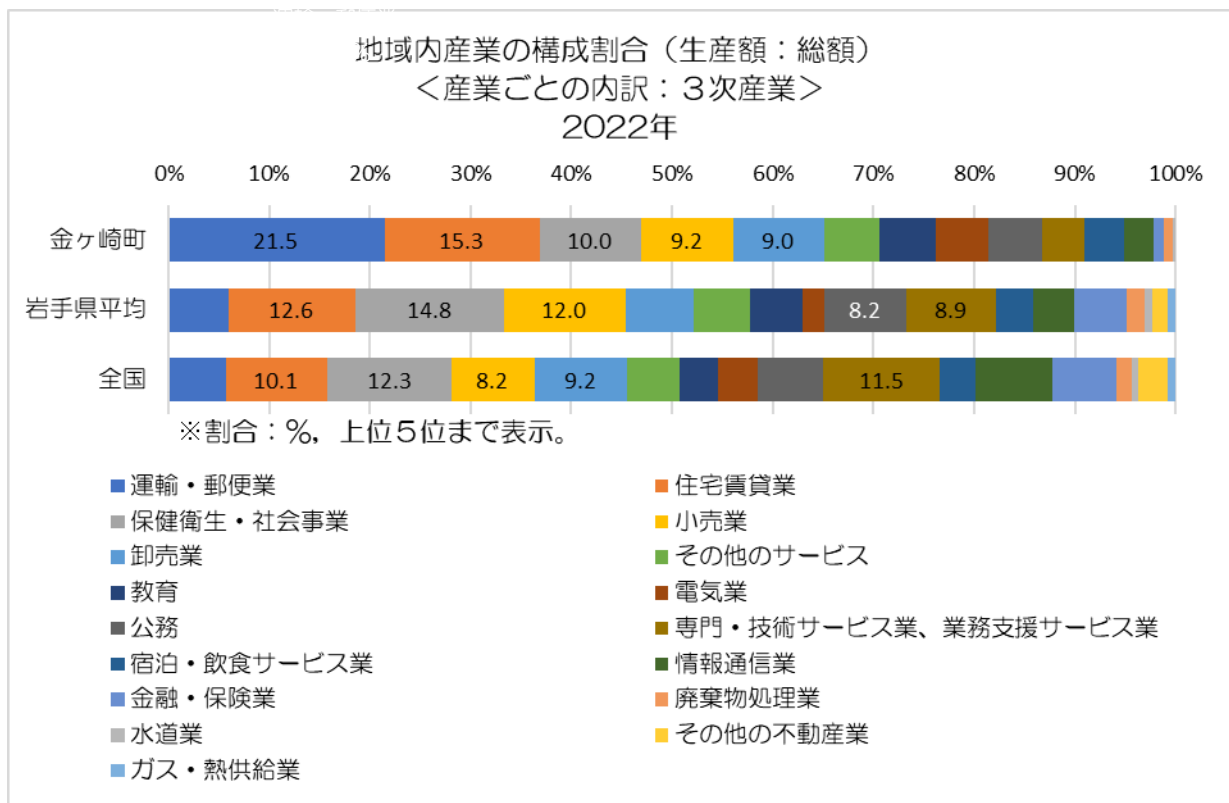
② 地域内産業の構成割合（生産額：総額）＜産業ごとの内訳：2次産業＞〔2022年〕



グラフ内数値一覧（単位：％）

産業分類	地域		
	金ヶ崎町	岩手県平均	全国
輸送用機械	71.8	12.7	16.1
化学	9.4	3.3	9.5
建設業	7.0	22.1	14.6
電子部品・デバイス	6.4	5.1	4.7
非鉄金属	3.1	2.4	3.6
その他の製造業	0.8	6.3	5.7
はん用・生産用・業務用機械	0.4	16.1	10.0
窯業・土石製品	0.4	1.7	1.6
食料品	0.4	13.6	9.1
石油・石炭製品	0.2	2.1	5.7
印刷業	0.1	1.1	0.9
繊維製品	0.1	0.9	0.8
金属製品		2.5	2.6
鉄鋼		4.6	6.2
パルプ・紙・紙加工品		0.7	1.7
情報・通信機器		1.1	1.7
鉱業		0.8	0.2
電気機械		2.7	5.4

③ 地域内産業の構成割合（生産額：総額）＜産業毎の内訳：3次産業＞〔2022年〕



グラフ内数値一覧（単位：％）

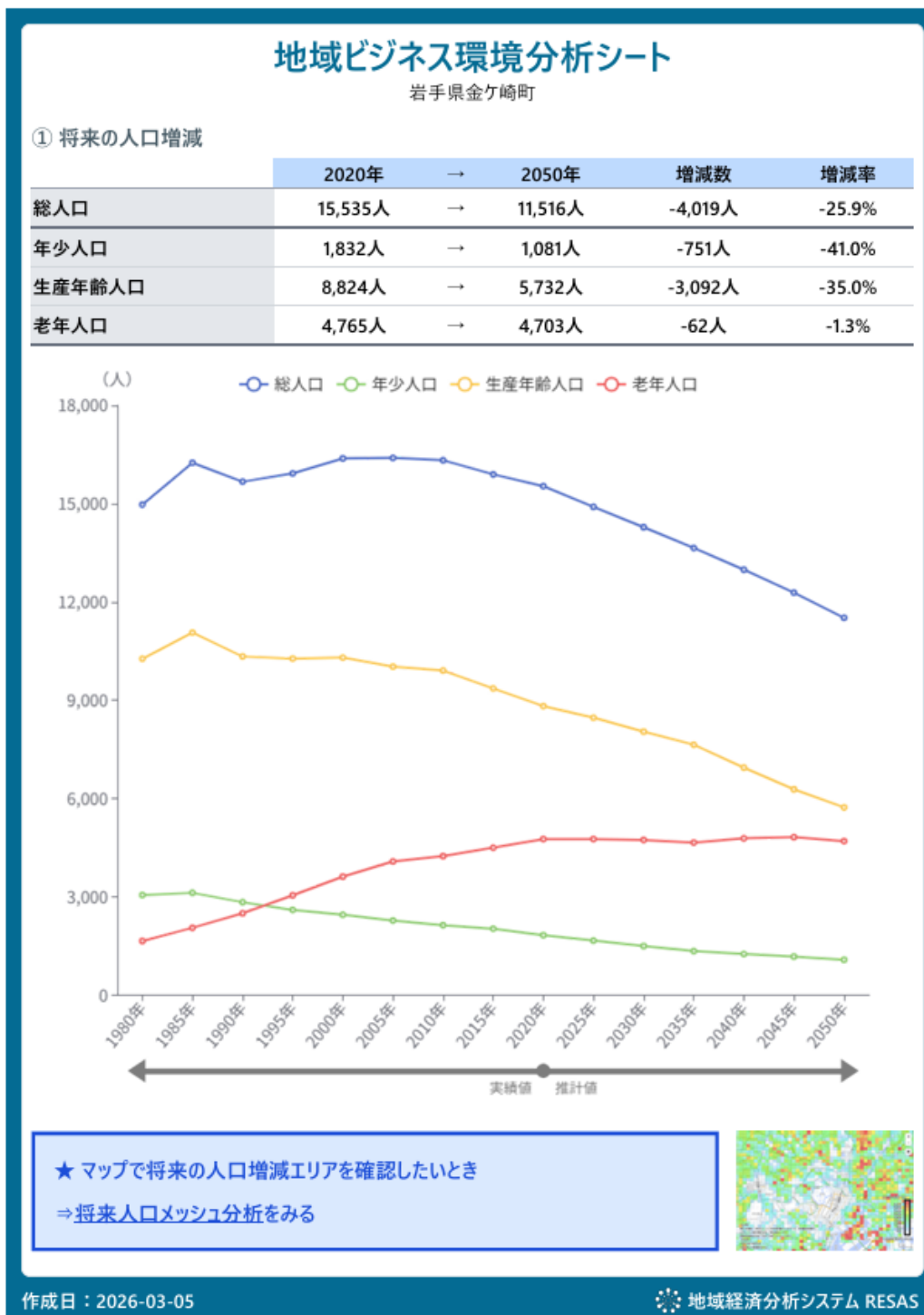
産業分類	地 域	金ヶ崎町	岩手県平均	全国
運輸・郵便業		21.5	6.0	5.7
住宅賃貸業		15.3	12.6	10.1
保健衛生・社会事業		10.0	14.8	12.3
小売業		9.2	12.0	8.2
卸売業		9.0	6.8	9.2
その他のサービス		5.5	5.6	5.2
教育		5.5	5.2	3.8
電気業		5.3	2.2	3.9
公務		5.3	8.2	6.6
専門・技術サービス業、業務支援サービス業		4.2	8.9	11.5
宿泊・飲食サービス業		3.9	3.7	3.5
情報通信業		2.9	4.0	7.7
金融・保険業		1.1	5.2	6.3
廃棄物処理業		0.8	1.8	1.6
水道業		0.3	0.8	0.6
その他の不動産業			1.5	2.9
ガス・熱供給業		-	0.8	0.8

2. 地域ビジネス環境分析（産業構造マップ）

地域の将来人口推計、人口減少に関する業種の傾向、町内における民間消費の流出状況を確認する。

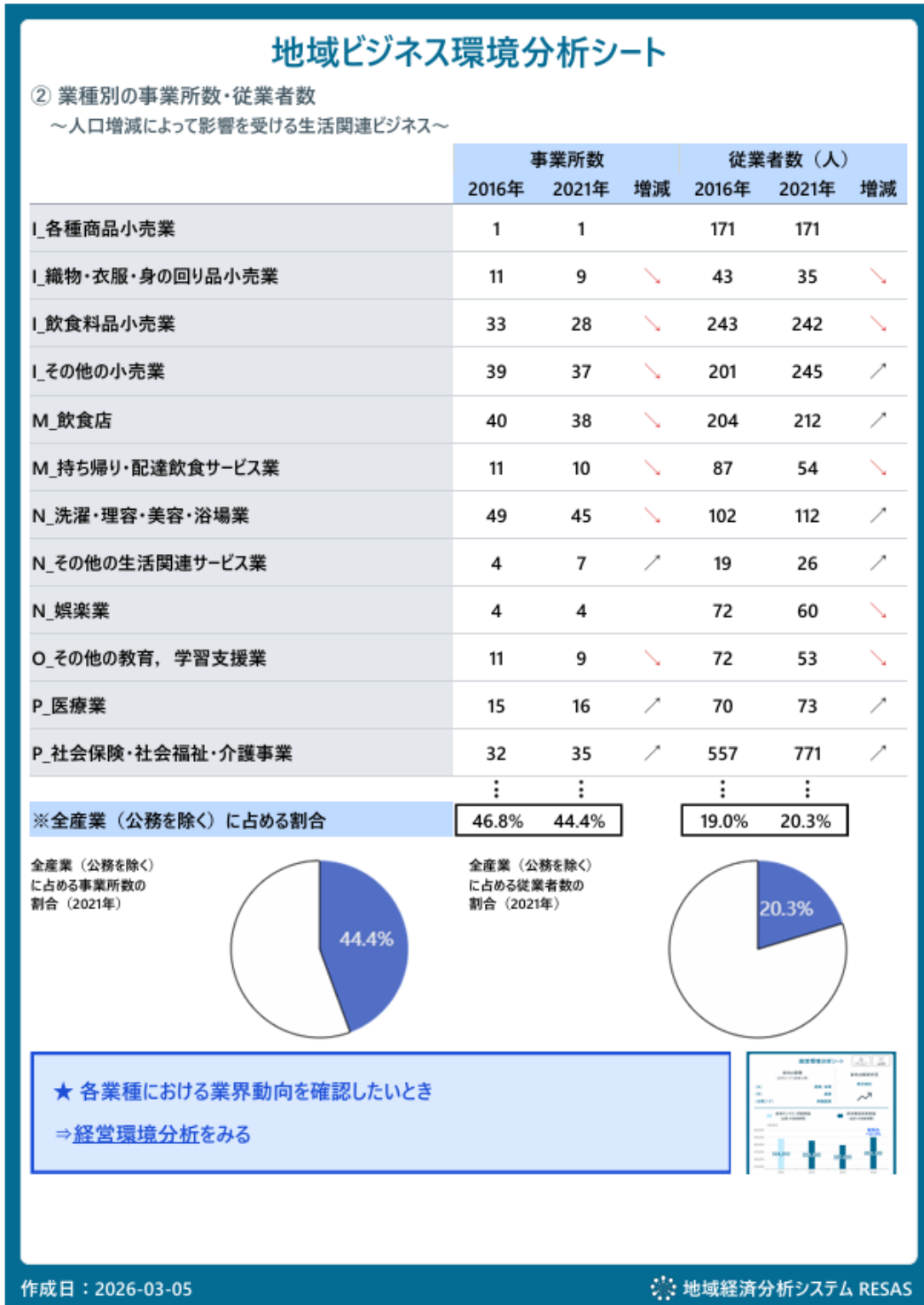
① 将来の人口増減

2020年人口から、30年後の人口推計では、総人口で25.9%減少、中でも、年少人口は41.0%の減少との推計となっている。



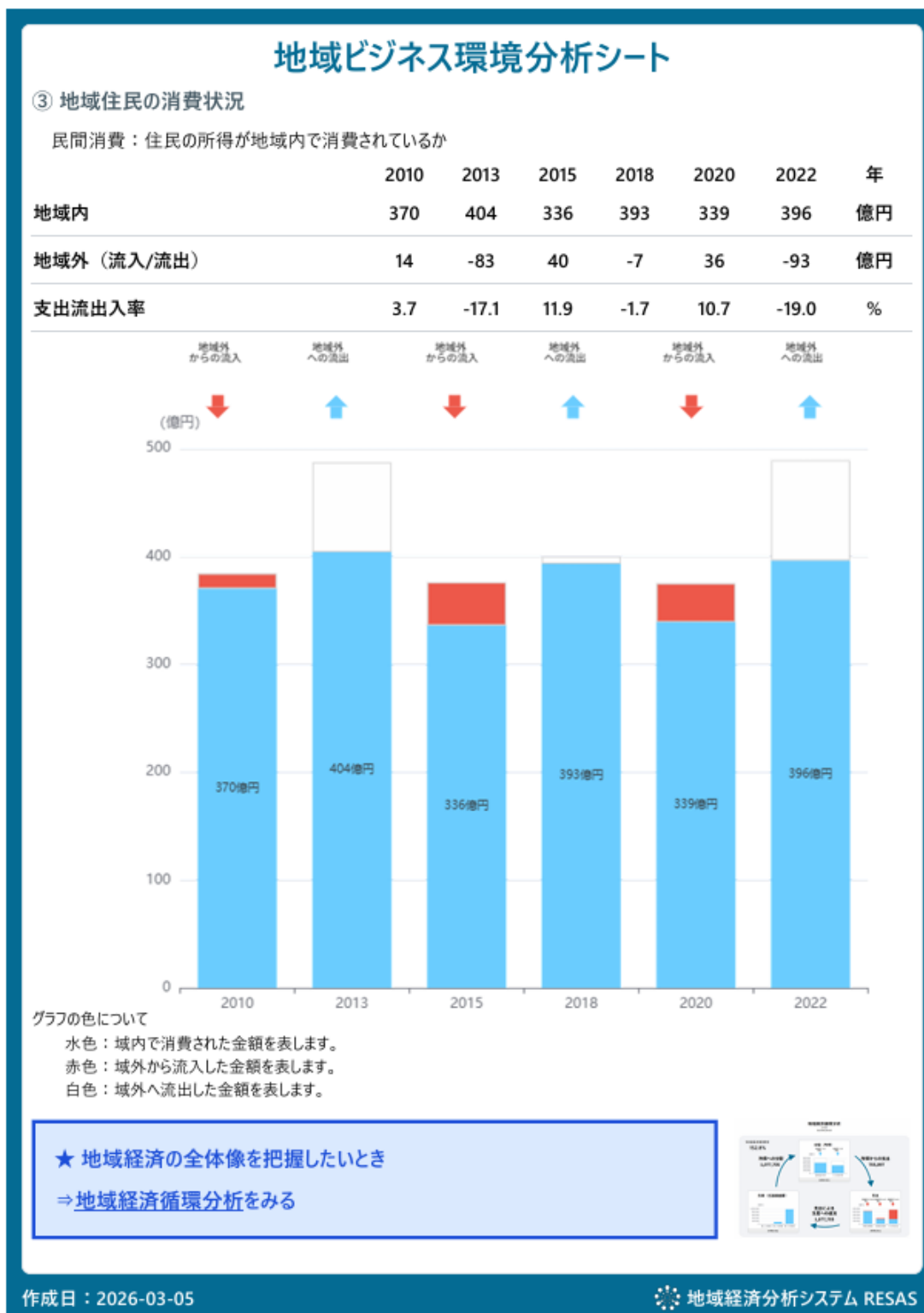
② 業種別の事業所数・従業者数

人口減少によって影響を受ける生活関連ビジネスの傾向を、2016年と2021年のデータよりみると、事業所数、従業者数共に減少傾向となっている業種は、「織物・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料
品小売業」、「持ち帰り・配達飲食サービス業」、「その他の教育、学習支援業」である。全産業に占める割合では、事業所数では2021年時点で44.4%を占めているが、従業者数でみると20.3%に留まっている。



③ 地域住民の消費状況

住民の所得が地域内で消費されているかをみると、地域内消費は 400 億円程度で推移している。地域外からの流入と地域外への流出が、繰り返されている状況がみられている。



【出典】

①将来の人口増減

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

②業種別の事業所数・従業者数

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

③民間消費流入額

環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）
地域経済循環分析（環境省）

【注記】

①将来の人口増減

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯舘村）をまとめて推計しているため表示されない。総数には年齢不詳を含む。

②業種別の事業所数・従業者数

経済センサス-活動調査（2016、2021年）は、日本標準産業分類大分類N-生活関連サービス業、娯楽業のうち、小分類792-家事サービス業に属する事業所を除く全国全ての事業所及び企業が対象である。

令和3年経済センサス-活動調査では、過去の調査では活用されていなかった「国税庁法人番号公表サイト」情報を利用して外観からの確認では把握が困難な事業所を加えた調査名簿を基に調査が行われた。

秘匿「X」は、集計対象となる事業所（企業等）の数が1又は2であるため、集計結果をそのまま公表すると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがある場合に、該当数値を秘匿した箇所である。

③民間消費流入額

本データは、国民経済計算、県民経済計算、国勢調査、経済センサス等のデータを用いて、全国の市町村のデータを統一的方法で作成している。

国民経済計算や県民経済計算は、精度向上を目的として推計方法の見直しが行われるため、データ更新時に過去の数値が改定される場合がある。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

3. 人の動き（人口マップ・通勤通学人口分析）

町内の人々の動きを、昼間人口と夜間人口でみると、昼間人口（15歳以上）は16,151人、夜間人口（15歳以上）は13,703人であり、昼夜間人口比率は117.86%となっており、昼間人口割合が高くなっている。

昼間人口をみると、金ケ崎町内に日中滞在する人の居住地別では、6割程度が金ケ崎町、2割が奥州市、1割強が北上市と、本町と隣接市の割合が高い。

金ケ崎町に居住する人の、日中の滞在地をみると、7割近くは町内滞在となっている。次いで奥州市（14.54%）、北上市（11.83%）で、隣接市滞在の割合が高い。

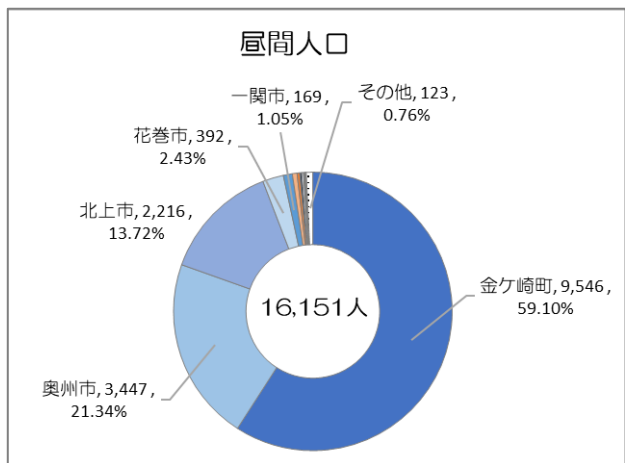
昼間人口と夜間人口それぞれの年齢階級別構成割合をみると、19歳以下では、昼間人口割合より夜間の割合が高くなっている。20代以上では、昼間人口の割合が夜間より高くなっている。

（1）昼間人口・夜間人口の地域別構成割合（2020年）

昼間人口：16,151人
 夜間人口：13,703人
 （昼夜間人口比率：117.86%）
 国勢調査（2020年：総数）15,535人、（同年：15歳未満）1,832人

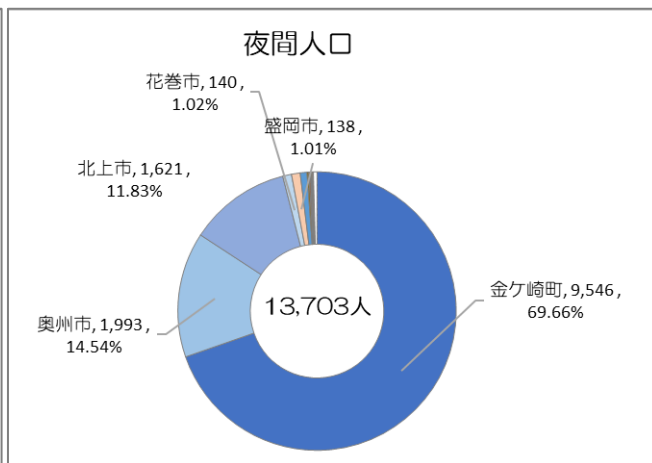
昼間人口

（金ケ崎町内に日中滞在する人の居住地）



夜間人口

（金ケ崎町内に居住する人の日中の滞在地）



順位	市区町村名	昼間人口	昼間人口率
—	すべての市区町村	16,151	100.00
1位	金ヶ崎町	9,546	59.10
2位	奥州市	3,447	21.34
3位	北上市	2,216	13.72
4位	花巻市	392	2.43
5位	一関市	169	1.05
6位	盛岡市	88	0.54
7位	紫波町	50	0.31
8位	平泉町	37	0.23
9位	遠野市	33	0.20
10位	矢巾町	19	0.12
11位	仙台市	16	0.10
12位	滝沢市	15	0.09
13位以下計	その他	123	0.76

※人口2桁未満はその他とした。

順位	市区町村名	夜間人口	夜間人口率
—	すべての市区町村	13,703	100.00
1位	金ヶ崎町	9,546	69.66
2位	奥州市	1,993	14.54
3位	北上市	1,621	11.83
4位	花巻市	140	1.02
5位	盛岡市	138	1.01
6位	一関市	107	0.78
7位	仙台市	29	0.21
8位	滝沢市	24	0.18
9位	矢巾町	19	0.14
10位	平泉町	15	0.11
11位	紫波町	14	0.10
12位以下計	その他	57	0.42

※人口2桁未満はその他とした。

【出典】

総務省「国勢調査」

【注記】

昼間人口：この画面においては、就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地における15歳以上の人口であり、従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口をいう。

算出方法は「地域に常住する人口」－「地域から通勤者又は通学者として流出する人口」＋「その地域へ通勤者又は通学者として流入する人口」

テレワーク勤務に関しては、定義上ふだんからテレワーク勤務が半分未満の場合は勤め先の所在地が従業地となるため、「流出人口」「流入人口」に含まれるが、テレワーク勤務が半分以上の場合は、自宅を従業地とするため、「流出人口」「流入人口」に含まれない。

夜間勤務の者、夜間の学校に通っている者も便宜上昼間就業者・昼間通学者とみなして昼間人口に含めているが、買物客などの非定常的な移動については考慮していない。

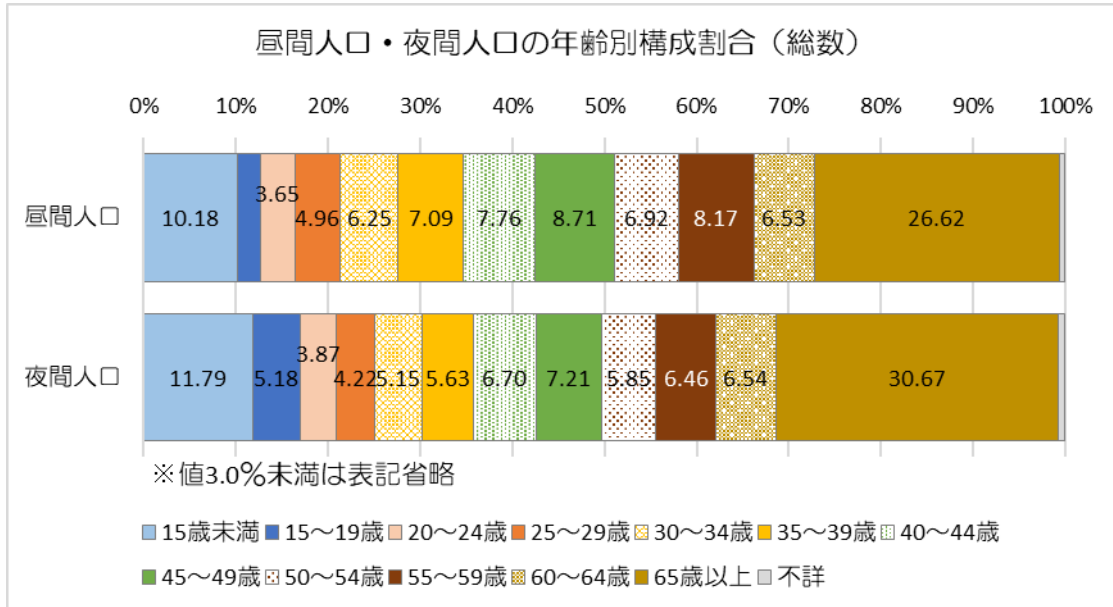
夜間人口：この画面においては、地域に常住している15歳以上の人口である。

昼夜間人口比率：この画面においては、夜間人口100人当たり（15歳以上）の昼間人口（15歳以上）の割合であり、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。

「平成22年国勢調査」による数値に関して、平成22年10月1日以降に合併した岩手県一関市（一関市、藤沢町）、栃木県栃木市（栃木市、西方町、岩舟町）、埼玉県川口市（川口市、鳩ヶ谷市）、愛知県西尾市（西尾市、一色町、吉良町、及び幡豆町）、島根県松江市（松江市、東出雲町）、島根県出雲市（出雲市、斐川町）の6自治体については、市町村合併を考慮した調整を実施している。

(2) 昼間人口・夜間人口の年齢階級別構成割合（2020年）

昼間人口：17,981人
 夜間人口：15,535人
 （昼夜間人口比率：115.75%）
 国勢調査（2020年：総数）15,535人，（同年：15歳未満）1,832人



年齢階級名	昼間人口		夜間人口		昼夜間 人口比 (%)
	人口 (人)	人口率 (%)	人口 (人)	人口率 (%)	
総数	17,981	100.00	15,535	100.00	115.75
15歳未満	1,830	10.18	1,832	11.79	99.89
15~19歳	456	2.54	804	5.18	56.72
20~24歳	656	3.65	601	3.87	109.15
25~29歳	891	4.96	655	4.22	136.03
30~34歳	1,124	6.25	800	5.15	140.50
35~39歳	1,274	7.09	874	5.63	145.77
40~44歳	1,396	7.76	1,041	6.70	134.10
45~49歳	1,566	8.71	1,120	7.21	139.82
50~54歳	1,244	6.92	909	5.85	136.85
55~59歳	1,469	8.17	1,004	6.46	146.31
60~64歳	1,175	6.53	1,016	6.54	115.65
65歳以上	4,786	26.62	4,765	30.67	100.44
不詳	114	0.63	114	0.73	100.00

【出典】

総務省「国勢調査」

【注記】

昼間人口：就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地による人口であり、従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口。

算出方法は「地域に常住する人口」－「地域から通勤者又は通学者として流出する人口」＋「その地域へ通勤者又は通学者として流入する人口」

夜間勤務の者、夜間の学校に通っている者も便宜上昼間就業者・昼間通学者とみなして昼間人口に含めているが、買物客などの非定常的な移動については考慮していない。

夜間人口：地域に常住している人口である。

昼夜間人口比率：夜間人口 100 人当たりの昼間人口の割合であり、100 を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100 を下回っているときは流出超過を示している。

流入者数、流出者数、流入超過数、流出超過数には、特別区間および同じ政令指定都市下の行政区間の流入者数・流出者数は含まれていない。

「平成 22 年国勢調査」による数値に関して、平成 22 年 10 月 1 日以降に合併した岩手県一関市（一関市、藤沢町）、栃木県栃木市（栃木市、西方町、岩舟町）、埼玉県川口市（川口市、鳩ヶ谷市）、愛知県西尾市（西尾市、一色町、吉良町、及び幡豆町）、島根県松江市（松江市、東出雲町）、島根県出雲市（出雲市、斐川町）の 6 自治体については、市町村合併を考慮した調整を実施している。

4. 全産業の構造（産業構造マップ＞産業構造分析）

市町村単位で公開されている最新年の2021年データで、産業の状況を見る。

産業大分類別にみた、企業数（企業単位）の構成割合をみると、本町は、県や全国と比べて「農業・林業」の割合が高い。

同様に、事業所数（事業所単位）の構成割合では、上位5位までの産業は、本町、県、全国とも同様の産業が占めている。

従業者数（事業所単位）でみると、本町では「製造業」が5割を占めている。

売上高（企業単位）では、「製造業」が55.4%、「運輸業・郵便業」が23.1%を占めており、県や全国と比べて割合が高くなっている。また、県や全国でみると3割程度を占める「卸売業・小売業」が本町では13.3%と低くなっている。

産業大分類別に、「従業者数」、「付加価値額」、「労働生産性」（「付加価値額」／「従業者数」で算出）について、2016年データから2021年データの増減率をみると、「付加価値額」の増加率が高い産業は、「教育、学習支援業」（1144.4%）、「農林漁業」（161.4%）、「製造業」（111.8%）となっている。「従業者数」では、「教育、学習支援業」（333.3%）、「運輸・郵便業」（70.7%）、「農林漁業」（45.7%）である。「労働生産性」は、「教育、学習支援業」（187.2%）、「農林漁業」（142.1%）、「製造業」（71.4%）の順で増加率が高い。

【出典】

総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」、
総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

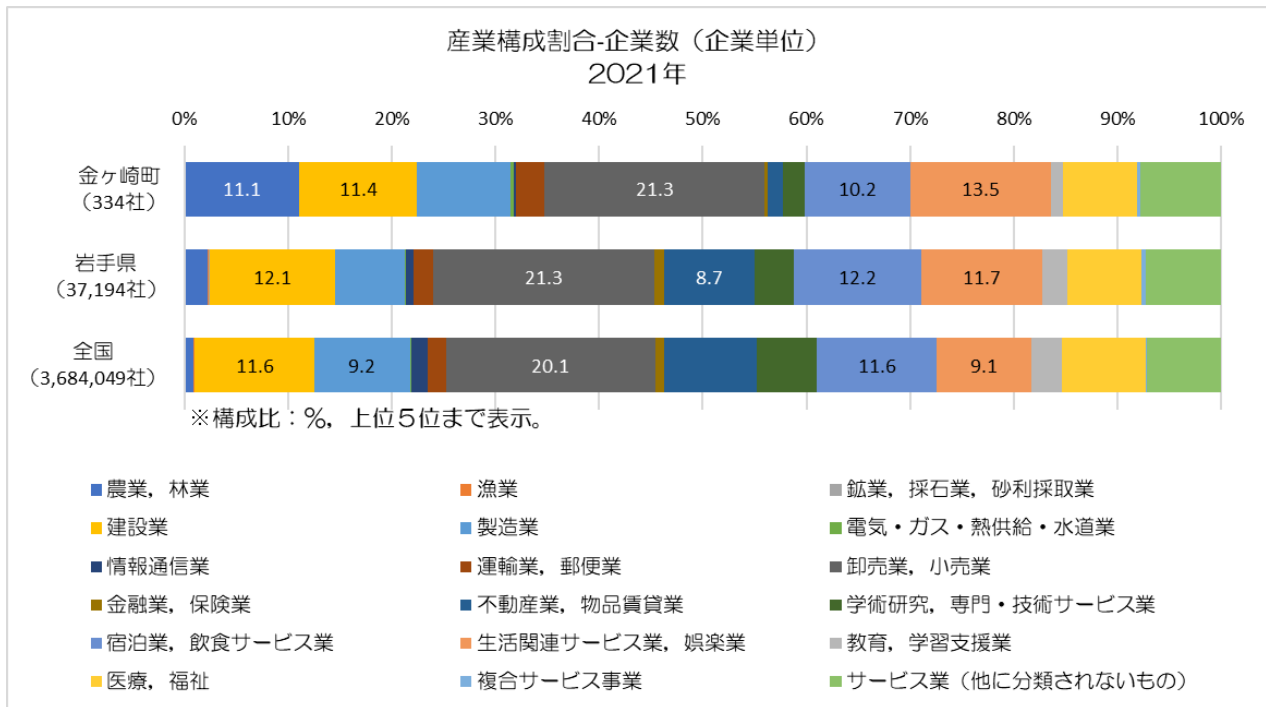
【注記】

- 経済センサスー活動調査（2012、2016、2021年）は、以下に掲げる事業所を除く全国全ての事業所及び企業が対象である。
 - ①日本標準産業分類大分類Aー農業、林業に属する個人経営の事業所
 - ②日本標準産業分類大分類Bー漁業に属する個人経営の事業所
 - ③日本標準産業分類大分類Nー生活関連サービス業、娯楽業のうち、小分類792ー家事サービス業に属する事業所
 - ④日本標準産業分類大分類Rーサービス業（他に分類されないもの）のうち、中分類96ー外国公務に属する事業所
- 経済構造実態調査（産業横断調査 2022、2023年）は、日本標準産業分類に掲げる産業に属する全国の企業を調査対象の範囲としている。ただし、次に掲げる企業は除く。
 - ①「大分類Aー農業、林業」に属する個人経営の企業
 - ②「大分類Bー漁業」に属する個人経営の企業
 - ③「大分類Nー生活関連サービス業、娯楽業」のうち、「小分類792ー家事サービス業」に属する企業
 - ④「大分類Rーサービス業（他に分類されないもの）」のうち、「中分類93ー政治・経済・文化団体」、「中分類94ー宗教」及び「中分類96ー外国公務」に属する企業
 - ⑤「大分類Sー公務（他に分類されるものを除く）」に属する企業

このうち、個人経営の企業を除き、日本標準産業分類における大分類、中分類又は小分類ごとに売上高を上位から累積し、当該分類に係る売上高総額の8割を達成する範囲に含まれる企業を調査対象として、その報告等を基に全体を推計した上で結果表として集計している。

- 付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課（費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費）。
- 売上高、付加価値額は調査年の前年1年間の値。
- 売上高、付加価値額は調査年次によって消費税率が異なることから、時系列比較を行う際は十分に留意が必要である。
- 令和3年経済センサスー活動調査では、過去の調査では活用されていなかった「国税庁法人番号公表サイト」情報を利用して外観からの確認では把握が困難な事業所を加えた調査名簿を基に調査が行われた。このため、従来の活動調査よりも幅広く事業所を捉えており、時系列比較を行う際は十分に留意が必要である。
- 平成24年経済センサスー活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。
福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯舘村
- 秘匿「X」は、集計対象となる事業所（企業等）の数が1又は2であるため、集計結果をそのまま公表すると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがある場合に、該当数値を秘匿した箇所である。
また、集計対象数が3以上の事業所（企業等）に関する数値であっても、合計との差引きで、集計対象が1又は2の事業所（企業等）の数値が判明する箇所は、併せて「X」と表示している。

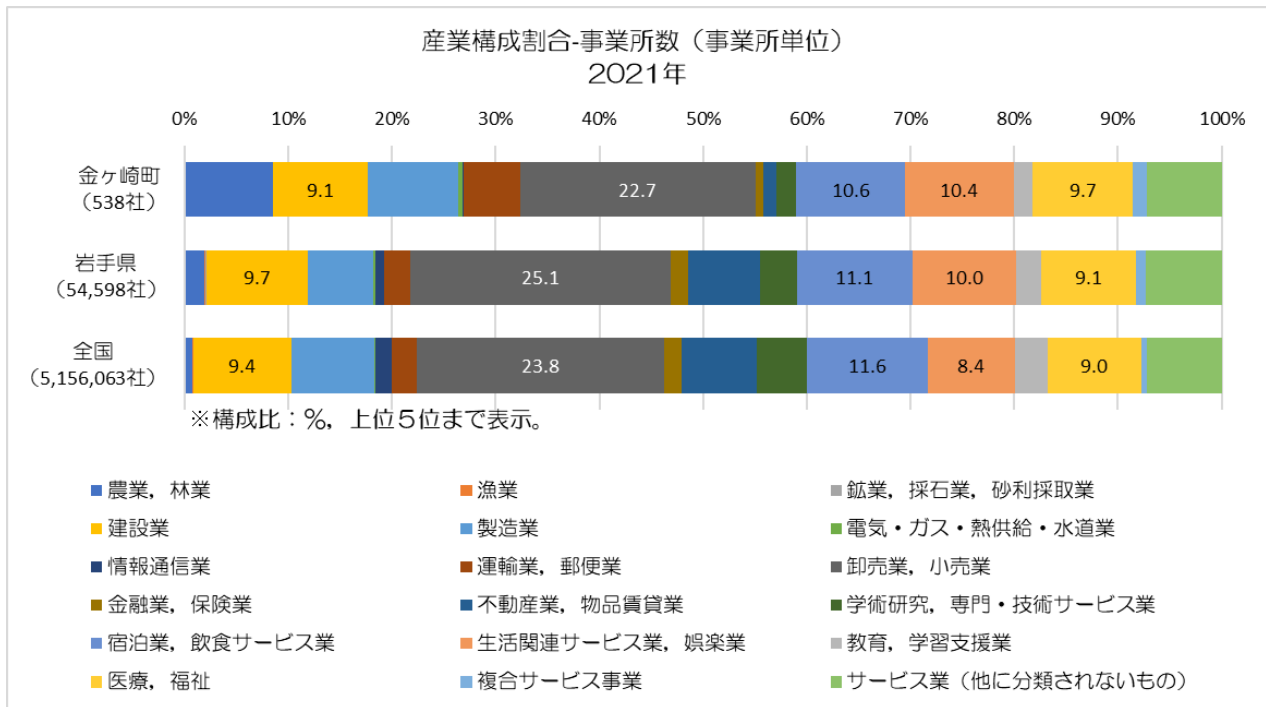
(1) 産業構成-企業数 (企業単位) (2021年)



産業大分類名	全国		岩手県		金ヶ崎町	
	企業数 (社)	構成比 (%)	企業数 (社)	構成比 (%)	企業数 (社)	構成比 (%)
すべての大分類	3,684,049	100.0	37,194	100.0	334	100.0
農業、林業	32,072	0.9	825	2.2	37	11.1
漁業	3,223	0.1	48	0.1	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	1,428	0.0	40	0.1	-	-
建設業	426,155	11.6	4,497	12.1	38	11.4
製造業	339,738	9.2	2,499	6.7	30	9.0
電気・ガス・熱供給・水道業	5,496	0.1	53	0.1	1	0.3
情報通信業	56,599	1.5	244	0.7	1	0.3
運輸業、郵便業	66,831	1.8	729	2.0	9	2.7
卸売業、小売業	741,239	20.1	7,930	21.3	71	21.3
金融業、保険業	30,995	0.8	334	0.9	1	0.3
不動産業、物品賃貸業	328,329	8.9	3,248	8.7	5	1.5
学術研究、専門・技術サービス業	214,724	5.8	1,435	3.9	7	2.1
宿泊業、飲食サービス業	426,575	11.6	4,542	12.2	34	10.2
生活関連サービス業、娯楽業	334,668	9.1	4,336	11.7	45	13.5
教育、学習支援業	109,004	3.0	904	2.4	4	1.2
医療、福祉	298,517	8.1	2,679	7.2	24	7.2
複合サービス事業	5,445	0.1	145	0.4	1	0.3
サービス業 (他に分類されないもの)	263,005	7.1	2,706	7.3	26	7.8

※企業数：企業単位

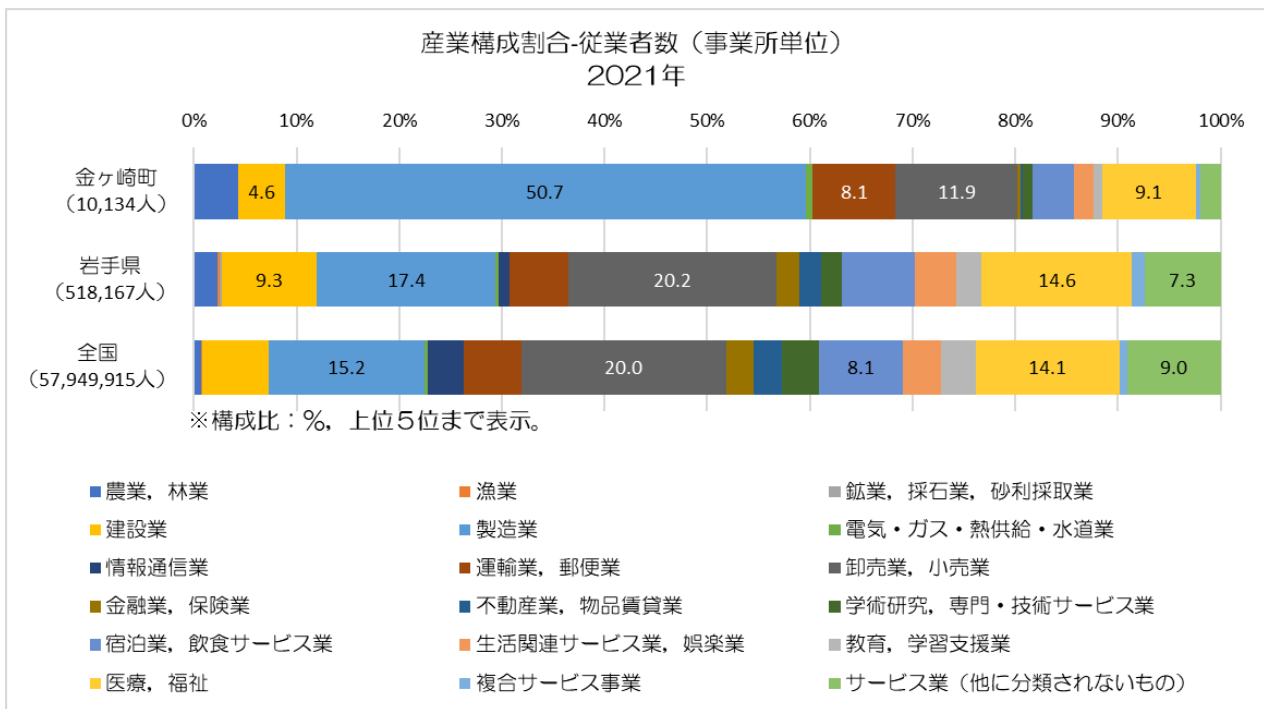
(2) 産業構成-事業所数 (事業所単位) (2021年)



産業大分類名	全国		岩手県		金ヶ崎町	
	事業所数 (社)	構成比 (%)	事業所数 (社)	構成比 (%)	事業所数 (社)	構成比 (%)
すべての大分類	5,156,063	100.0	54,598	100.0	538	100.0
農業、林業	38,642	0.7	1,021	1.9	46	8.6
漁業	3,800	0.1	93	0.2	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	1,865	0.0	65	0.1	-	-
建設業	485,135	9.4	5,292	9.7	49	9.1
製造業	412,617	8.0	3,483	6.4	47	8.7
電気・ガス・熱供給・水道業	9,139	0.2	102	0.2	2	0.4
情報通信業	76,559	1.5	433	0.8	1	0.2
運輸業、郵便業	128,224	2.5	1,418	2.6	29	5.4
卸売業、小売業	1,228,920	23.8	13,678	25.1	122	22.7
金融業、保険業	83,852	1.6	951	1.7	4	0.7
不動産業、物品賃貸業	374,456	7.3	3,742	6.9	7	1.3
学術研究、専門・技術サービス業	252,340	4.9	1,978	3.6	10	1.9
宿泊業、飲食サービス業	599,058	11.6	6,058	11.1	57	10.6
生活関連サービス業、娯楽業	434,209	8.4	5,450	10.0	56	10.4
教育、学習支援業	163,357	3.2	1,331	2.4	10	1.9
医療、福祉	462,531	9.0	4,971	9.1	52	9.7
複合サービス事業	32,131	0.6	512	0.9	7	1.3
サービス業 (他に分類されないもの)	369,212	7.2	4,020	7.4	39	7.2

※事業所数：事業所単位

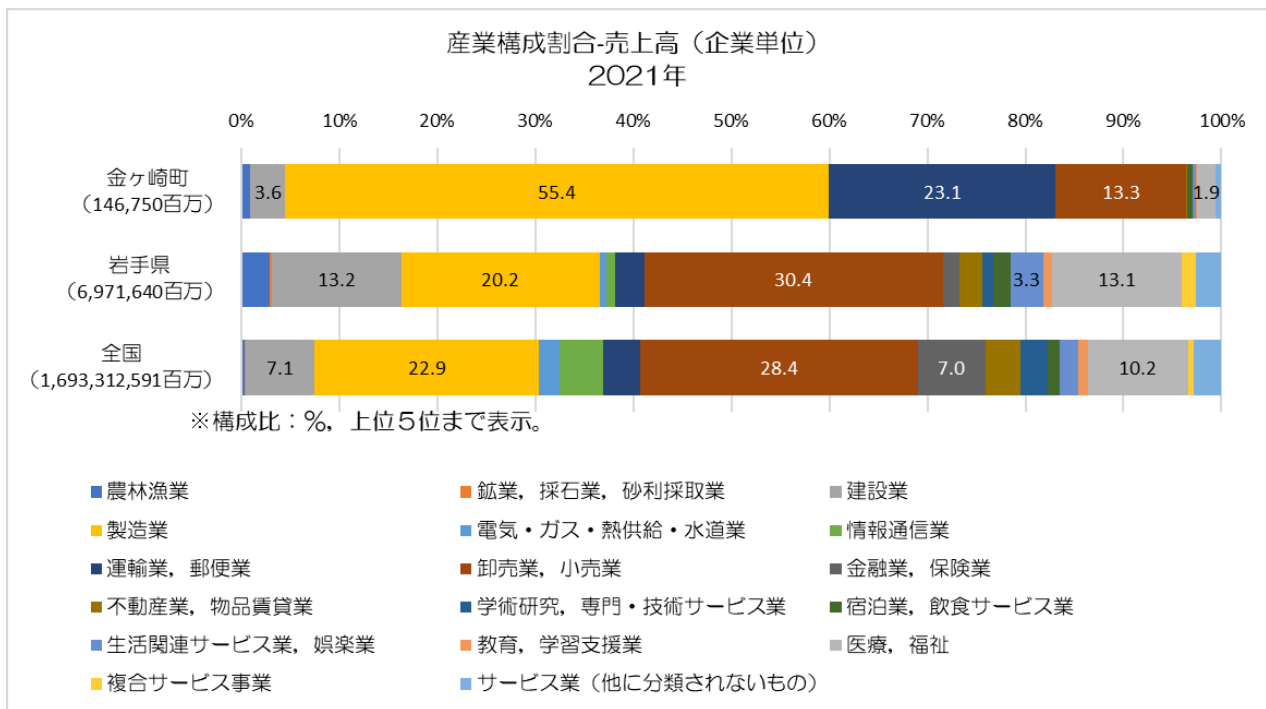
(3) 産業構成-従業者数（事業所単位）（2021年）



産業大分類名	地域	全国		岩手県		金ヶ崎町	
		従業者数 (人)	構成比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)
すべての大分類		57,949,915	100.0	518,167	100.0	10,134	100.0
農業, 林業		412,411	0.7	12,043	2.3	437	4.3
漁業		41,013	0.1	1,167	0.2		0.0
鉱業, 採石業, 砂利採取業		19,697	0.0	862	0.2		0.0
建設業		3,737,415	6.4	48,016	9.3	464	4.6
製造業		8,803,643	15.2	90,009	17.4	5,137	50.7
電気・ガス・熱供給・水道業		202,149	0.3	1,841	0.4	68	0.7
情報通信業		1,986,839	3.4	5,521	1.1	2	0.0
運輸業, 郵便業		3,264,734	5.6	29,551	5.7	820	8.1
卸売業, 小売業		11,611,924	20.0	104,817	20.2	1,203	11.9
金融業, 保険業		1,494,436	2.6	11,532	2.2	32	0.3
不動産業, 物品賃貸業		1,618,138	2.8	11,489	2.2	20	0.2
学術研究, 専門・技術サービス業		2,118,920	3.7	10,393	2.0	91	0.9
宿泊業, 飲食サービス業		4,678,739	8.1	36,772	7.1	408	4.0
生活関連サービス業, 娯楽業		2,176,139	3.8	20,788	4.0	198	2.0
教育, 学習支援業		1,950,734	3.4	12,887	2.5	85	0.8
医療, 福祉		8,162,398	14.1	75,788	14.6	923	9.1
複合サービス事業		435,970	0.8	6,703	1.3	46	0.5
サービス業 (他に分類されないもの)		5,234,337	9.0	37,988	7.3	200	2.0

※従業者数：事業所単位

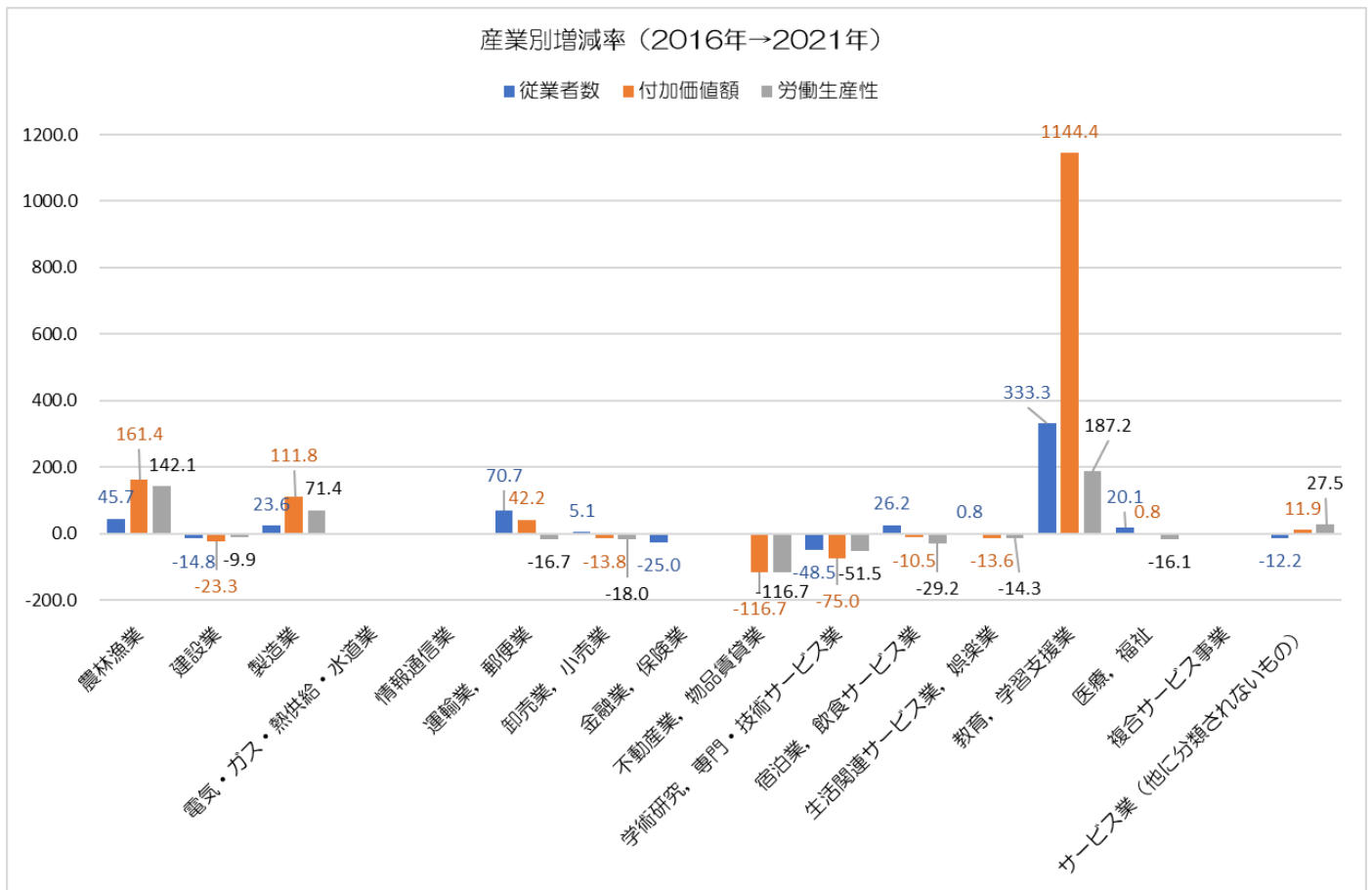
(4) 産業構成-売上高（企業単位）（2021年）



産業大分類名	全国		岩手県		金ヶ崎町	
	売上高 (百万)	構成比 (%)	売上高 (百万)	構成比 (%)	売上高 (百万)	構成比 (%)
すべての大分類	1,693,312,591	100.0	6,971,640	100.0	146,750	100.0
農林漁業	5,933,071	0.4	205,074	2.9	1,354	0.9
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1,503,162	0.1	13,000	0.2		0.0
建設業	120,030,992	7.1	923,243	13.2	5,280	3.6
製造業	387,060,638	22.9	1,409,344	20.2	81,347	55.4
電気・ガス・熱供給・水道業	36,232,504	2.1	44,778	0.6	X	-
情報通信業	75,499,894	4.5	62,584	0.9	X	-
運輸業, 郵便業	62,199,305	3.7	211,402	3.0	33,912	23.1
卸売業, 小売業	480,167,887	28.4	2,120,731	30.4	19,591	13.3
金融業, 保険業	117,768,068	7.0	121,809	1.7	X	-
不動産業, 物品賃貸業	59,532,063	3.5	159,667	2.3	28	0.0
学術研究, 専門・技術サービス業	48,029,003	2.8	74,498	1.1	75	0.1
宿泊業, 飲食サービス業	20,783,408	1.2	126,634	1.8	769	0.5
生活関連サービス業, 娯楽業	30,461,302	1.8	232,322	3.3	535	0.4
教育, 学習支援業	17,390,454	1.0	63,512	0.9	155	0.1
医療, 福祉	173,336,912	10.2	916,769	13.1	2,841	1.9
複合サービス事業	8,923,555	0.5	100,989	1.4	X	-
サービス業 (他に分類されないもの)	48,460,372	2.9	185,284	2.7	811	0.6

※売上高：企業単位

(5) 付加価値額の構造分析-産業別増減率（2016年→2021年）



産業大分類名	年・項目	2016年			2021年			増減率（2016年→2021年）		
		従業者数	付加価値額	労働生産性	従業者数	付加価値額	労働生産性	従業者数	付加価値額	労働生産性
すべての大分類		4060	15909	3918	4959	25523	5147	22.1	60.4	31.4
農林漁業		210	-471	-2243	306	289	944	45.7	161.4	142.1
建設業		391	1694	4332	333	1299	3901	-14.8	-23.3	-9.9
製造業		1465	7409	5057	1811	15695	8666	23.6	111.8	71.4
電気・ガス・熱供給・水道業					3	X				
情報通信業		2	X		2	X		0.0		
運輸業、郵便業		464	2823	6084	792	4013	5067	70.7	42.2	-16.7
卸売業、小売業		530	1880	3547	557	1621	2910	5.1	-13.8	-18.0
金融業、保険業		4	X		3	X		-25.0		
不動産業、物品賃貸業		7	6	857	7	-1	-143	0.0	-116.7	-116.7
学術研究、専門・技術サービス業		33	96	2909	17	24	1412	-48.5	-75.0	-51.5
宿泊業、飲食サービス業		183	256	1399	231	229	991	26.2	-10.5	-29.2
生活関連サービス業、娯楽業		130	220	1692	131	190	1450	0.8	-13.6	-14.3
教育、学習支援業		9	9	1000	39	112	2872	333.3	1144.4	187.2
医療、福祉		533	1706	3201	640	1719	2686	20.1	0.8	-16.1
複合サービス事業		1	X		1	X		0.0		
サービス業（他に分類されないもの）		98	268	2735	86	300	3488	-12.2	11.9	27.5

※従業者数：企業単位、人／付加価値額：企業単位、百万／労働生産性：千円/人

※増減率=（2021年の数値-2016年の数値）／|2016年の数値|×100、%